

## 自動車騒音面的評価支援システムの基本機能

## 初期設定

1. 初期設定
  1. 都道府県・市区町村コード
  2. GIS地図
    - (1) 地図設定
  3. 縮尺率
  4. 画面表示
  5. 基準年度
  6. 評価基準
  7. 評価対象道路
  8. 都市計画用途地域
  9. 環境基準類型指定地域
  10. 道路に面する地域
  11. 距離帯
  12. 建物階数高さ
  13. 建物用途
  14. 環境基準類型毎の残留騒音設定
  15. 背後地騒音推計式
  16. 騒音レベル等高線図
  17. 評価区間状況
  18. 街区状況
  19. 建物状況
  20. 環境GIS設定
  21. 騒音レベル実測

## 3. 沿道設定

1. 市区町村エリア
  - (1) オブジェクト作成
  - (2) 情報入力
  - (3) データチェック
  - (4) 最適化
2. 都市計画用途地域
  - (1) 第一種低層住居専用
  - (2) 第二種低層住居専用
  - (3) 第一種中高層住居専用
  - (4) 第二種中高層住居専用
  - (5) 第一種住居
  - (6) 第二種住居
  - (7) 準住居
  - (8) 近隣商業
  - (9) 商業
  - (10) 準工業
  - (11) 工業
  - (12) 工業専用
  - (13) 都市計画区域内用途未指定
  - (14) 都市計画区域外
  - (15) 都市計画用途地域の種類変更
3. 環境基準類型指定地域
  - (1) オブジェクト作成 (自動)
  - (2) オブジェクト作成 (手動)
4. 評価区間
  - (1) 区切り作成
  - (2) オブジェクト作成
  - (3) 情報入力
  - (4) 標準断面設定
  - (5) データチェック
5. 道路端
  - (1) オブジェクト作成
  - (2) 情報入力
6. 道路に面する地域
  - (1) オブジェクト作成
  - (2) 情報入力
  - (3) 番号オブジェクト移動

## 要素設定

2. 道路設定
  1. 道路平面線形要素
    - (1) オブジェクト作成
    - (2) 情報入力
    - (3) 一覧表示
  2. 標準断面
  3. 道路交通センサス区間
    - (1) 区切り作成
    - (2) オブジェクト作成
    - (3) 道路交通センサスデータ整理
    - (4) 情報入力
    - (5) 一覧表示
  4. データチェック
    - (1) オブジェクトデータ
    - (2) 標準断面
    - (3) 最適化

- (4) データチェック
- (5) 最適化
7. 距離帯
  - (1) オブジェクト作成
  - (2) データチェック
  - (3) 最適化
8. 近接空間
  - (1) オブジェクト作成
  - (2) データチェック
9. 街区
  - (1) 区切り作成
  - (2) オブジェクト作成
  - (3) 情報入力
  - (4) 区間延長取得
  - (5) 標準断面設定
  - (6) データチェック
  - (7) 最適化
10. 建物
  - (1) オブジェクト作成
  - (2) 情報入力
  - (3) 番号オブジェクト移動
  - (4) 建物属性把握
  - (5) 窓面位置設定
  - (6) データチェック
11. 立地密度
12. 印刷用メッシュ作成
13. 現地調査用データ作成
  - (1) 沿道条件の把握チェックシート出力
  - (2) 評価区間チェック表エクスポート
  - (3) 評価区間チェック表インポート
  - (4) 建物チェック表エクスポート
  - (5) 建物図印刷

## 4. 騒音設定

1. 騒音測定地点
  - (1) 騒音測定地点
  - (2) 断面設定
2. 騒音測定データ
  - (1) データ入力
  - (2) データ一覧表示
3. データチェック
  - (1) オブジェクトデータ
  - (2) 標準断面
  - (3) 騒音測定データ整理表
  - (4) 最適化

## 騒音推計

### 5. 騒音推計前

1. 騒音基準位置
  - (1) 騒音基準位置設定
  - (2) 騒音測定データ選択
2. 騒音レベル
  - (1) 基準点騒音レベルの推計
  - (2) 基準点騒音レベルの確定
  - (3) 残留騒音レベルの確定
3. 表示用レイヤ作成
  - (1) 道路近傍騒音レベル
  - (2) 残留騒音レベル
  - (3) 騒音観測・非観測区間区分

### 6. 騒音推計

1. データチェック
  - (1) オブジェクトデータ
  - (2) データ項目
  - (3) 最適化
2. 沿道情報
3. データ照査・諸元
4. 推計の実施
5. 常時監視フォーマット作成
  - (1) 建物ごとの騒音レベル別住居等戸数整理表集計
  - (2) 常時監視フォーマット作成
6. 一括表示用レイヤの作成
  - (1) 騒音暴露状況の住居等別の一括表示
  - (2) 環境基準達成状況の評価区間別の一括評価
  - (3) 騒音レベル等高線図
  - (4) 騒音レベル減衰横断面図

## 結果活用

### 7. 分析・活用

1. 騒音暴露状況の住居等別の一括表示 (1) 表示 / 印刷
  - (2) 集計結果一覧表示
2. 環境基準達成状況の評価区間別の一括評価
  - (1) 表示 / 印刷
  - (2) 集計結果一覧表示
3. 評価区間別の個別の住居等の騒音暴露状況統計処理
  - (1) 集計
4. 騒音レベルの等高線図
  - (1) コンタ図
  - (2) 帳票
5. 騒音レベル減衰横断面図
6. 沿道情報

### 8. 指定出力

1. 常時監視フォーマット
  - (1) 常時監視フォーマット
  - (2) 位置図 (騒音測定地点、評価区間)
  - (3) 詳細図 (騒音測定地点の平面図・横断面図)
2. 環境GISフォーマット
  - (1) ファイル出力
  - (2) GISデータ読み込み (3) GISデータ確認
  - (4) データチェック

### 9. データ管理

1. 入力・出力・印刷の管理
  - (1) 道路データ整理表
  - (2) 道路交通センサスデータ整理表
  - (3) 沿道情報データ整理表
  - (4) 建物データ整理表
  - (5) 騒音測定データ整理表
  - (6) 路線別建物状況整理表
  - (7) 建物ごとの騒音レベル別住居等戸数整理表
  - (8) 常時監視フォーマット
2. 過年度データの移行
3. データ削除
  - (1) 過年度データ削除
  - (2) データ一括削除
  - (3) リンクコード削除

### 10. ヘルプ

1. ヘルプ
2. 操作手順フロー
  - (1) 騒音発生強度の把握の方法「1」
  - (2) 騒音発生強度の把握の方法「2」
  - (3) 騒音発生強度の把握の方法「3」
  - (4) 騒音発生強度の把握の方法「4」
  - (5) 環境GISファイル作成
3. 面的評価支援システムについて